

大往生

の

勉強会

家族葬という言葉が一人歩きをしているように思います。家族が葬儀の中心になるのは当然ですが、あえて家族葬というのであれば送る人を悼む家族の思いを十分に汲んだ葬儀であるべきでしょう。

逝く人の思いを受けた家族が行うものであったり、逝く人への惜別の心を形にしたものであったりするのが家族葬なのではないでしょうか？

直葬という葬送の形があります。これかの葬儀の流れの中心的な形になるものと思います。



「家族葬と直葬」今までの葬式と違うのはどんなところですか？

* 家族葬のはずだったけれどこれまでと何も変わなかった。

* 直葬とは？などの疑問に答えます。

■ 講 師：須齋 美智子

NPO法人ライフ・アンド・エンディングセンター理事長

■ 日 時：22年9月19日（日）午後2時～4時

■ 場 所：浦和コミュニティセンター 第6集会室

JR浦和駅東口コムナーレ（パルコ）10階

■ 定 員：39名

■ 参加費：会員500円 一般700円

■ 申 込：TEL048-855-1238 FAX048-855-1006 Email office@npolec.org

■ 主 催 NPO法人ライフ・アンド・エンディングセンター

講師略歴

平成12年 NPO法人設立理事長就任、

13年葬送事業について展示発表会開催（所沢市ギャラリー）。

13年～14年 LEC葬送10回連続講座開催、模擬葬を行う。以後毎月葬送、暮らしの危機管理についての講座を継続開催。

16年「もしもノート」刊行。20年より「大往生の勉強会」を開く。公民館、諸団体等で講座活動を行っている。